

新製品のお知らせ

バス、トラック事業者向け、クラウド型 遠隔地動画点呼サービス

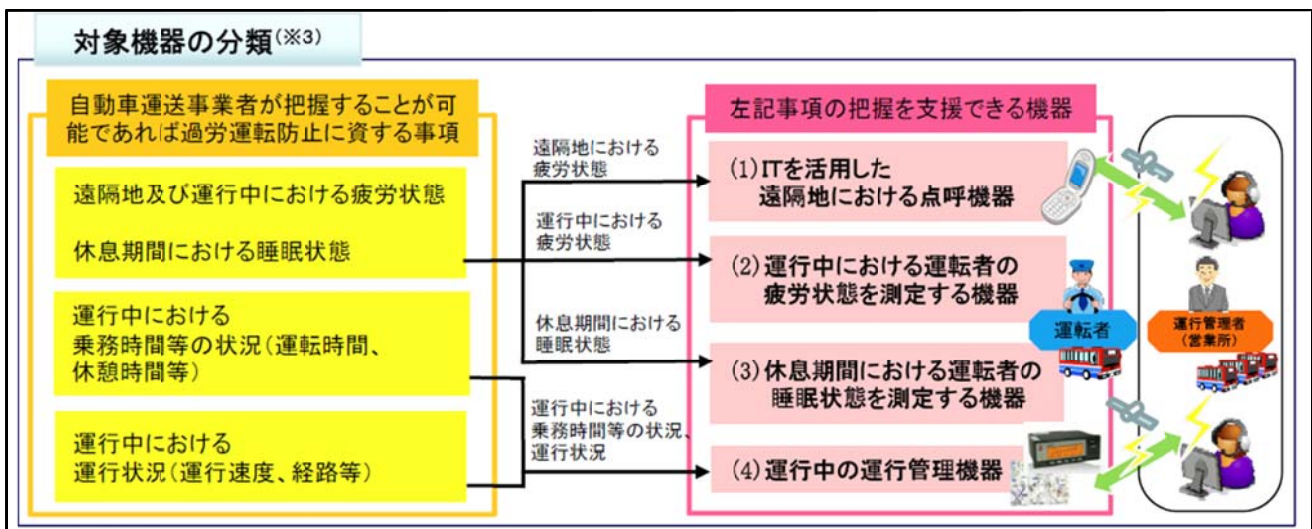
『テレ点呼』について

飲酒運転ゼロにむけ先進的な取り組みをする東海電子株式会社(本社:静岡県富士市 代表:杉本 一成)は、この度、「クラウド型 遠隔地向け 動画点呼サービス 『テレ点呼』」を開発しましたのでお知らせ致します。

記

1. 開発の背景

2011年5月に施行されたアルコール検知器の義務化をきっかけに、遠隔地での始業・終業及び中間点呼におけるアルコールチェックがより厳格になってきています。特に、2012年4月に発生した関越自動車道での事故以降、アルコールチェックを含む遠隔地での点呼については、「動画を使って、顔の表情が見える」「動画を使って、過労・健康確認が見える」点呼を行うことが、通常の電話点呼と比べて、過労・飲酒運転防止に効果的であると考えられているようです。実際、国土交通省では、事業者に対して、今年度の予算で、『ITを活用した遠隔地における点呼機器』に対して購入補助を実施。(今年度のみ。次年度以降未定、但し昨年末時点の概算要求では計画、予定中)。詳細は、参考資料(下記URL)をご参照ください。



<http://www.mlit.go.jp/common/000990407.pdf> から抜粋

他、過労運転防止のための先進的な取り組みに対する支援事業 リンク

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha02_hh_000143.html

http://www.mlit.go.jp/jidosha/zen/subcontents/data/chirashi_2.pdf

平成 26 年度 概算要求 (13 ページ)

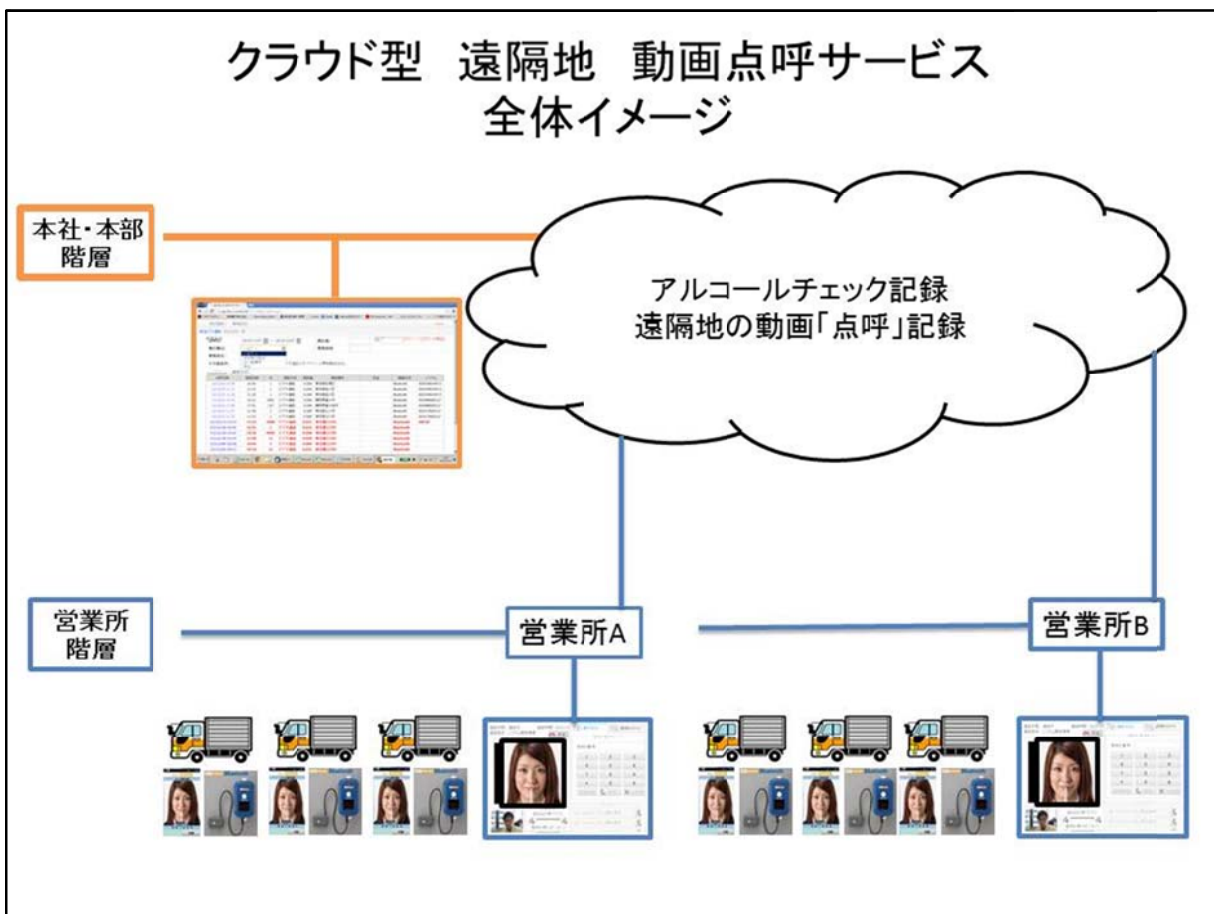
<http://www.mlit.go.jp/common/001022992.pdf>

2. クラウドサービス型動画アルコールチェックシステムの概要

当社では、高速・貸切バス事業者、中・長距離運行の多いトラック事業者が、遠隔地にいるドライバーに対して動画を使って、点呼、アルコールチェックを行い、それら保存された点呼の日時・場所・測定結果・動画等のデータについては、営業所の運行管理者のみならず、安全統括部門もクラウド型データサーバーを通して情報を共有するニーズがあることを踏まえて、この製品を企画致しました。

(図1～4)

<図1 クラウド型 遠隔地向け動画点呼サービス：全体イメージ>



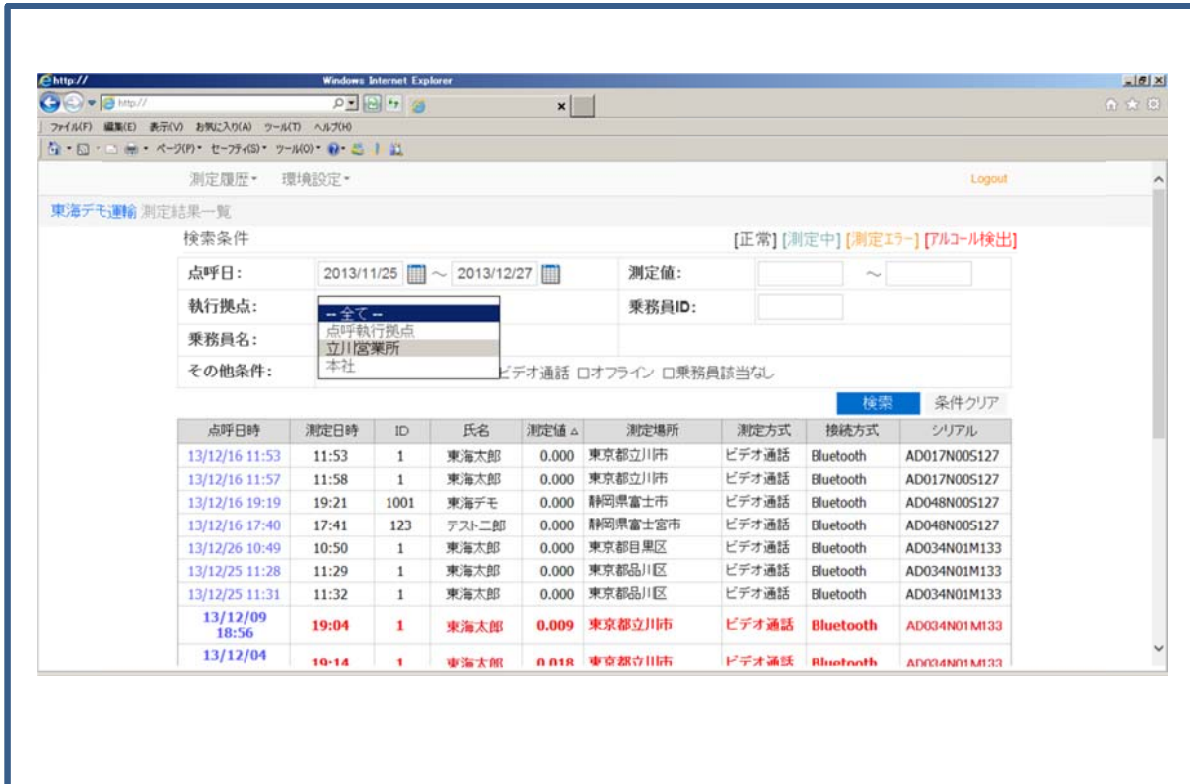
<図2 営業所の管理者が使用する画面イメージ【管理者側】>



<図3 クラウドサービス型動画アルコールチェックシステム：【ドライバー側】>



＜図4 クラウドサービス型動画アルコールチェックシステム：本社・本部【統括運行管理責任者】



※製品の画面・仕様は実際とは異なる場合がございます。

複数拠点を統括する管理者は、管理者用アカウントでログインすることにより、すべての事業所の点呼日時・場所・測定結果・動画等のデータを確認することができます。

3. 販売価格・サービス開始時期等

【価格メニュー（予定）】

No	内容	初期費用 (税抜)	維持費 (税抜)	備考
1)	動画点呼アプリ	150,000 円	-	1PC あたり
2)	クラウドサーバー使用料	72,000 円	72,000 円/年間	管理端末 5 アカウ ント測定用端末 100 台 まで
3)	アルコール検知器	89,000 円	10,000 円/年	1 台あたり
4)	動画点呼アプリ（スマートフォン側）	0 円	0 円	Google play より
5)	作業費（PC 側）	18,000 円	-	作業 1 回につき
6)	作業費（スマートフォン側）	1,800 円	-	端末 1 台あたり

【サービス開始時期】

2014 年 2 月中旬

★★本件に関するお問い合わせ先、資料請求先★★

東海電子株式会社

〒419-0201 静岡県富士市厚原 247-15 TEL:0545-67-8989 /FAX:0545-67-8900

e-mail:info@tokai-denshi.co.jp URL : <http://www.tokai-denshi.co.jp>